



西金沢学園だより

～地域と保護者の皆様へ～

NO.11 (70号)

横浜市立義務教育学校
西金沢学園

〒236-0046 金沢区釜利谷西四丁目 19 番 1 号

【本校舎】電話 045-784-0921

【分校舎】電話 045-782-7577

(小) <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/nishikanazawa/>(中) <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/nishikanazawa/>

年頭の思いを受けて

小学部副校長 藤田 健太郎

令和5年一か月が経過しようとしています。学校では、子どもたちが、ありがとうの会や10歳を祝う会、各学年の学習発表会など、令和4年度のまとめに向けて、一人ひとりが成長した姿を見てもらうために様々な取組が行われております。また、2月は、新1年生の保護者に向けた入学説明会や新7年生の保護者に向けた進級説明会が行われます。新年度へ向けての歩みも進めているところです。

さて、校内では年始の恒例として、冬休みの課題として書かれた作品や冬休みに練習し、学年で行った書初め大会の作品が掲示されました。一筆一筆、思いを込めて書かれた様子がよく伝わってきました。この中で、3月に大切な節目を迎える6年生と9年生は、四字熟語等を自分で選んで書き上げました。書初めに表現された深い意味を味わいながら印象に残ったものをいくつか紹介します。

【6年生】

てんくうかいかつ

天空海闊・・・天や海が果てしないように、度量が大きいこと。

すいてきせきせん

水滴石穿・・・小さな少しずつのことでも継続すれば大きな成果を挙げることが出来るということ。

いちねんつうてん

一念通天・・・強い信念をもってたゆまず努力を続けていけば、必ず成し遂げられるということ。

うんがいそうてん

雲外蒼天・・・困難を努力して乗り越える事で、その先には青い空（達成感）が待っているということ。

6年生は、10月の土曜参観の際に、学習や合唱の発表について、企画と運営を行いました。発表会を充実させるとともにペア友の絆をより強くするためお互いの発表を見合うという方法を考えました。これからも、仲間との思い出を胸に、空や海のように広く大きな度量をもって、たゆまぬ努力を重ね、様々な困難を乗り越えて、大きな成果を挙げていってくれることを期待しています。

【9年生】

いちいせんしん

一意専心・・・わき目もふらず心を一つのことだけに注ぐこと。

がしんしょうたん

臥薪嘗胆・・・将来の成功を期して苦勞に耐えること。

おうばいとうり

桜梅桃李・・・桜、梅、桃、すもものそれぞれが花を咲かすように、自分らしく、個性を生かすこと。

せいせいてん

生生流転・・・すべての物は絶えず生まれては変化し、移り変わっていくこと。

うんしんげっせい

雲心月性・・・名声や利益を求めず、雲や月のように清らかな心や性質をもつこと。

こうふうどうしゆん

光風動春・・・明るく輝く光と心地よい風が春を連れてくること 寛大でおおらかな心が、幸福を運んでくること。

9年生は、今月、多くの生徒が高校受検（験）を迎えます。今までに積み重ねてきたものはあるけれど、何とも言えない不安な気持ちを感じていることと思います。しかし、それは自分だけではなく、毎年、皆同じ気持ちを抱いています。残り少ない日々ですが、心を一つのこと注ぎ、将来の夢に向かって限られた時間を大切に過ごしてもらいたいです。そして、受検を控える人も進路が決まった人も、気を緩めることなく過ごし、希望に満ちた新しい季節を迎え、清らかな心を大切に、個性の花を開かせてほしいと願っています。